

津別町青年活動プロジェクト



令和 7 年度活動報告書

津別町青年活動プロジェクト a n d（令和7年度）

◆メンバー在籍者数 16名（2026.3現在）

リーダー	山本将也			
サブリーダー	松嶋美良	細川源生	大竹駿二	石川 匠
メンバー	四條玲香	久世 岳	和井内太喜	門馬祐策
	水野悠歌	林 晃子	河野優里奈	近藤 樹
	嶋田光祥	本田佳広	鈴木健史	
事務局	清水 栄	（生涯学習課社会教育係）		

◆定例会 11回

◆主催イベント 6回

◆内部研修事業 実施なし

◆内部交流 1回

◆広報活動	インスタグラム掲載	20回
	フェイスブック掲載	2回
	イベントチラシ配布	4回

◆他団体のイベントへの参加・協力 2回

津別町青年活動プロジェクト a n d

津別町内に在住又は勤務している青年の集団であり、年代・性別・業種にとらわれることなく、自ら学び、交流し、横のつながりを築きながら様々な活動を行ない、本町の地域振興に寄与することを目的とする団体です。平成26年度に設立し、今年で12年目の活動となりました。

津別町青年活動プロジェクト a n d（令和7年度）

1. a n d 定例会 4月～3月（通年） 中央公民館等

●新メンバー随時募集 昨年から引き続き募集活動を行っています！

●第1回定例会（4月18日）・・・5名出席
・令和6年度の活動・事業計画について（協議）

●第2回定例会（総会）（5月23日）・・・11名出席
・七夕まつりへの参画について（協議）
・令和7年度の活動・事業計画について（協議）
・4町青年団体花見の実施について（協議）

●第3回定例会（6月24日）・・・4名出席
・役場青年婦人部との交流会について（協議）
・ワークショップの開催について（協議）

●第4回定例会（7月8日）・・・4名出席
・役場青年婦人部との交流会について（報告）

●第5回定例会（9月11日）・・・3名出席
・七夕まつりの開催結果について（報告）
・ワークショップの開催について（協議）
・役場青年婦人部との交流会について（協議）

●第6回定例会（10月14日）・・・10名出席
・ワークショップ大会の開催結果（報告）
・4町交流会について（協議）
・主催事業「出張サンタ」について（協議）
・共催事業「ゲーム大会」について（協議）
・主催事業「モルック大会」について（協議）

●第7回定例会（11月19日）・・・6名出席
・美幌ハロウィンパーティの参加報告（報告）
・4町交流会の参加報告（報告）
・主催事業「出張サンタ」について（協議）
・共催事業「ゲーム大会」について（協議）
・主催事業「モルック大会」について（協議）

津別町青年活動プロジェクト a n d（令和7年度）

- 第8回定例会（12月22日）・・・8名出席
 - ・主催事業「モルック大会」の開催結果について（報告）
 - ・主催事業「出張サンタ」準備・作業
 - ・主催事業「異業種交流会」（協議）
- 第9回定例会（1月26日）・・・書面開催
 - ・主催事業「出張サンタ」について（報告）
 - ・主催事業「異業種交流会」について（報告）
 - ・共催事業「ゲーム大会」について（協議）
- 第10回定例会（2月17日）・・・7名出席
 - ・主催事業「出張オニ」の開催結果について（報告）
 - ・共催事業「ゲーム大会」について（報告）
 - ・総会について（協議）
- 第11回定例会（総会：4月8日）・・・10名出席（会場：ジンバー内 BarB・B）
 - ・令和7年度事業報告・決算報告について（報告）
 - ・令和8年度事業計画・予算について（協議）

2. a n d 役員会

- 実施なし

3. a n d 内部研修関係

- 実施なし

4. 公式アカウント(Instagram/facebook)

- 以下のアカウントにて随時更新中！



津別町青年活動プロジェクト a n d（令和7年度）

5. a n d イベント関係

①主催事業『ワークショップ』

9月27日（土） ウッドリーム 13:30～17:00

参加者：メンバー5名、一般40名 合計45名

町民の交流の場の創出及びウッドリームの利用促進を目的にワークショップを実施しました！内容はビーズを使用したアクセサリ作りということもあり、比較的女性が多く集まってくれた印象です。幅広い年齢の方が参加してくれたこともあり、終始盛りあがりを見せていました！また、町民の方からも、第2弾を望む声もあったので、引き続き町民の方がわくわくしながら参加できる催しを考えていきます！



②『津別モルック大会』

11月22日（土） 中央公民館講堂 13:00～17:25（レクリエーション）
18:00～20:00（交流会）

参加者：メンバー9名 一般29名 合計38名

多角的な交流を目的に「津別モルック大会」を開催しました。当日はメンバー9名と一般参加者29名の計38名が集まり、午後のレクリエーションから夜の交流会まで実施しました。参加者の職種は多岐にわたり、競技を通じて自然な形で会話が弾む様子が見られました。異業種の人々が同じ活動を行うことで、役職や立場に関係なくフラットに交流できる場となり、地域内の新たな顔合わせとつながりを作る機会となりました！



津別町青年活動プロジェクトand（令和7年度）

③『出張サンタ』

12月24日（水）・25（木） 町内6件 18:00～19:30

参加者：メンバー5名

毎年恒例となった「出張サンタ」を実施しました！あらかじめ依頼のあった家庭を訪問し、子どもたちへプレゼントを届ける活動を行いました。クリスマスという特別な時期に、直接触れ合う形での交流を図ることで、地域コミュニティの親睦を深めるとともに、子どもたちの思い出に残る機会を提供することができました。来年もまる太サンタとみなさんの家を訪問する予定です！お楽しみに！



④『異業種交流会』

1月16日（金） 味登利屋 18:30～20:30

参加者：41名

味登利屋にて異業種交流会を開催しました。町内の多様な業種が一堂に会することで、普段の業務では接点のない職種間での情報交換や顔合わせが実現しました。この活発な交流を通じて、職域を超えた新たな人間関係が構築され、地域経済の活性化や相互理解を促す有意義な機会となりました！



津別町青年活動プロジェクトand（令和7年度）

⑤『出張オニ』

2月3日（火） 高齢者福祉施設・町内施設 13:00～16:00

参加者：4名

当日は13時から16時にかけて、高齢者福祉施設や町内の各施設を訪問しました。メンバー4名が参加し、季節の行事を通じた交流を図ることで、施設利用者や職員の方々に笑顔をお届けすることができました。地域に根ざした活動として、伝統行事を共有しながら施設との連携を深める機会となりました！



⑥『津別町青年交流会』

3月27日（金） 味登利屋 18:30～21:00

参加者：32名

味登利屋にて津別町青年交流会を開催しました。当日は32名が参加し、約2時間半にわたって懇親を深めました！次代を担う青年層が、職域や立場の垣根を越えて一堂に会する貴重な機会となりました。年度末という節目に、地域に対する想いや日頃の課題を共有し合うことで、顔の見える関係性が強化されました！



津別町青年活動プロジェクト a n d（令和7年度）

6. a n d 内部交流会

『内部交流会』

5月23日（金） nanmo-nanmo（第1回総会終了後）

7. 広報活動

- ①インスタグラム ストーリー掲載
- ②フェイスブック 掲載
- ③チラシ折込み（みどりの清流）

8. 他団体のイベントへ参加・協力

★町外団体関係★

- ①B-LIVE 主催『ハロウィン仮装パーティ』

10月18日（土） 18:00～20:00 美幌町民会館

参加者：メンバー3名



- ②訓子府町青年団体連絡協議会主催『4町青年団体交流イベント』

11月1日（土） 運動会 14:00～18:00

交流会 18:00～20:00 参加者：メンバー9名



津別町青年活動プロジェクト and（令和7年度）

★町内関係★

①津別まちづくりセンター運営協議会主催「七夕まつり」への参画

8月2日（土）参加者：メンバー1名

②議会改革推進会議「青年団体等と議会議員との意見交換会」への出席

10月31日（金）参加者：メンバー1名

④津別まちづくりセンター運営協議会主催「アイスクャンドルまつり」への参画

2月14日（土）参加者：メンバー1名

8. リーダー総括

リーダー 山本 将也

本年では通年で行っているイベントの他に新規事業にチャレンジをする1年となった。従来ではサンタとオニのイベントのみを子供向けとし、その他のイベントでは青年向けのイベントを中心に企画運営をおこなっていたが、全年齢を対象としたイベントとしてブレスレットを手作りするワークショップを開催した。女性をターゲットにし、老若男女問わず、小さいお子さんからご年配の方まで幅広い世代の方々にワークショップを楽しんでいただけてとても有意義なイベントとなった。また、異業種交流の幅を広げる動きとして異業種交流会を進化させた形となった青年団体交流会。これから全国規模での人口減少となりわが町津別町でも例外なく町民の数は減少している。そのような町に活気を与えなくてはいけないのは我々青年層の役割と思い、今までアンド主催で異業種交流を催していたが各団体を丸々参加させることによって青年層の横のつながりを強くしそれぞれの業種の有事の際に助け合える・協力し合えるような関係をつくるべきと思い交流会を企画した。各団体の反応がよく令和8年度の本格始動へのいいスタートダッシュとなった。新しく開催したイベント等で様々な人たちとのコミュニケーションを通じて、人と接する機会の創出の重要性を他の方々も気にしておりアンドという団体の存在意義を強く感じた令和7年度となった。